

平成24年10月30日（火）
愛知県産業労働部
産業科学技術課
管理・調整グループ
担当 加藤、山口
内線 3381、3389（ダイヤル）052-954-6347

（独）科学技術振興機構（JST）のA-STEP探索タイプの公募で、 あいち産業科学技術総合センターの提案が9件採択されました

この度、（独）科学技術振興機構（ジェイエスティーJST）の公募事業（エーステップA-STEP）の採択結果が発表され、応募総数3,634件から1,123件が採択されました。

全国の公設試験研究機関及び地方独立行政法人の採択件数は73件あり、あいち産業科学技術総合センターの9件（別紙のとおり）は、その中で最多の採択件数となりました。

なお、今回採択された9件に交付される研究費は合計で1,530万円となります。

今後とも、こうした国の事業も活用しつつ、県内企業のニーズに応じた研究開発、技術指導を行ってまいります。

（参考）主な公設試験研究機関及び地方独立行政法人の採択状況（工業系）

機関名	件数
あいち産業科学技術総合センター	9件
（地独）大阪府立産業技術総合研究所	6件
（地独）大阪市立工業研究所	5件
岐阜県工業技術研究所、岐阜県セラミックス研究所	3件
滋賀県東北部工業技術センター	3件
和歌山県工業技術センター	3件
（地独）北海道立総合研究機構	3件
愛媛県産業技術研究所	3件

【あいち産業科学技術総合センター】24年度A-STEP探索タイプ 採択課題一覧

No.	センター	上段: 課題名	研究者
		下段: 概要	
1	産業技術センター (刈谷市)	凍結乾燥を用いたマイクロポーラス層レス固体高分子形燃料電池の開発	村上英司
		燃料電池の電極部分の乾燥法として凍結乾燥法を用いる方法を開発する。この研究により、燃料電池の高性能化はもとより、コストダウンや一般家庭への早期普及が可能となる。	
2	産業技術センター (刈谷市)	プリンターを用いたフレキシブル基材上への加熱処理を要しないパターン作製技術の開発	吉元昭二 行木啓記
		フレキシブル基材(プラスチックの薄いフィルム)に、電気配線をプリンターを用いて印刷する。この際に、銀の化学反応を用いて、加熱処理を行わず配線パターンを作製する技術を開発する。	
3	産業技術センター (刈谷市)	自己組織化単分子膜(SAM)を応用した銀ナノ粒子の固定化及び微細配線パターン作製技術の開発	濱口裕昭 行木啓記 吉元昭二
		樹脂基板上に金属と結合する薬品分子1層の薄い膜を生成させ、この膜に銀ナノ粒子を結合させ配線パターンを作製する方法を開発する。現行工程の短縮化ができ、コスト削減、環境保護に貢献できる。	
4	産業技術センター (刈谷市)	液中プラズマで合成した複合ナノ粒子の燃料電池用触媒への用途展開	阿部祥忠 行木啓記 鈴木正史 杉本貴紀
		液体中で反応性の高いプラズマを発生させ、酸化アルミニウムと白金が複合したナノ微粒子を作製し、燃料電池の電極に応用する。燃料電池の電極の劣化を防ぎ、高効率化を目指す。	
5	食品工業技術センター (名古屋市)	リン酸カルシウムによる食品用水中の微生物除去	近藤徹弥 石原那美
		食品を製造する水中に含まれる微生物を、タンパク質高吸着性リン酸カルシウムを用いて効果的に除去し、簡便でより衛生的な水を供給する技術を開発する。	
6	尾張繊維技術センター (一宮市)	無縫製ニットを用いた立体形状を持つCFRP 製造技術の開発	田中利幸
		炭素繊維は極めて細く、破断・毛羽立ち等が発生しやすく、編物に加工しにくい。樹脂コーティングや他の繊維でカバーリング処理を施すことにより、炭素繊維を立体的に編成する技術について検討する。	
7	三河繊維技術センター (蒲郡市)	溶剤可溶ポリイミドによる耐熱性繊維の開発	金山賢治
		熱に強いが、繊維にすることが難しいポリイミド樹脂から繊維を作る技術を開発する。不織布等に加工することにより耐熱性フィルター等の産業資材用繊維分野への用途展開が期待される。	
8	三河繊維技術センター (蒲郡市)	3次元モデリングと並列演算処理を用いたシームレス立体構造織物設計システムの開発	太田幸一 中田絵梨子
		ミシンを使わずに、つなぎ目のない(シームレス)立体構造織物を生産するための設計支援ソフトを開発し、座席シートなどの設計をコンピュータ上で実施できるようにする。	
9	三河繊維技術センター (蒲郡市)	太陽電池の発電効率を向上させる波長選択透過性遮熱ネットの開発	原田真 浅野春香
		シリコン型太陽電池は、夏場に太陽電池パネルの温度が上昇し、発電効率が大幅に低下する。本研究では、発電に必要な光は透過し、赤外線など熱線を遮断する遮熱ネットを開発し、発電効率の向上を図る。	